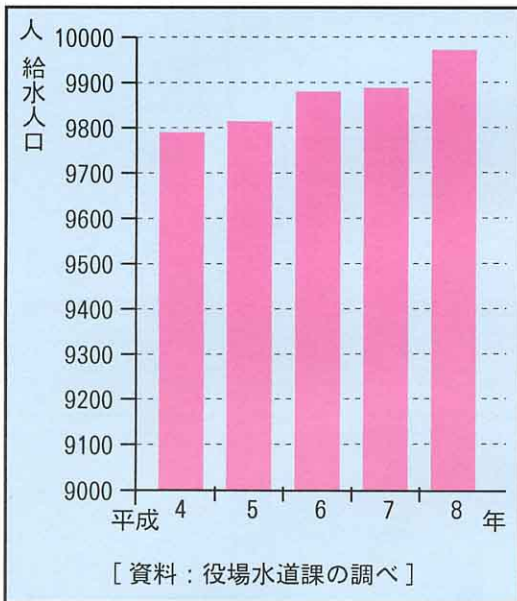


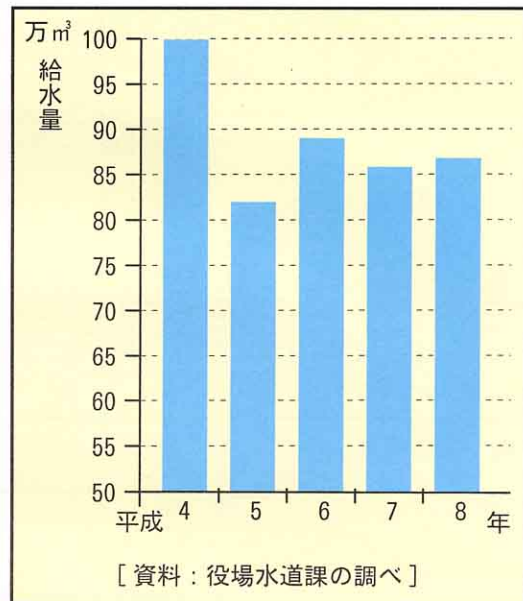
2 暮らしをささえる水

(1) 町の人々が使う水の量

わたしたちが生活するうえで、水はなくてはならないものです。町の人々が使う水の量の移り変わりを調べてみると、毎年たくさんの水が使われていることが分かります。



▲ 給水人口の移り変わり



▲ 使用量の移り変わり

平成 8 年には、1 年間で町の人 1 人ずつが 145 m^3 もの水を使っています。これは 1.5 l のペットボトル 97000 本分にもなります。



役場の水道課のおじさんの話

水を使っている人は、年々多くなってきています。町ではたくさんの水を送っていますが、調べてみるとその水が全部は使われていません。これは水道管が古くなってきていて、水がもれたりしているからです。そこで町では、水道管を石綿セメントから塩化ビニール管に交換するなど、安定して水を送るために努力しています。

水を使う量は夏の気温にも関係します。平成 5 年のように気温があがらない年は、水を使う量が少なくなったりします。